

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>【上位目標】 ミンダナオ島ジェネラルサントス市バランガイサンホセに住む先住民族の子どもたちの教育環境及び生活環境を向上させること。 (達成度とその理由：100%) コンクリート製の2教室が完成し、児童会の組織強化、教師の先住民の文化理解を経て、子どもの教育環境が向上している。さらに、地域では母親たちが保健の知識や生計向上のための知識・技術を身につけることができた。これにより、直接間接合わせ、バランガイサンホセに住む約2,000名の子どもの生活環境が向上している。</p>
(2) 事業内容	<p>【ハードコンポーネント】</p> <p>(イ) シャトル小学校2教室の建築 (ロ) 上記1校備品整備 (椅子と机計100個、教壇2つ、黒板2つ)</p> <p>活動内容 バランガイサンホセにあるシャトル小学校において新築トイレ付1棟2教室の建築、そしてその教室の椅子や机、黒板等の備品整備を行った。活動は、申請書の通りに順調に進められた。参照：「ハードコンポーネント詳細」</p> <p>【ソフトコンポーネント】</p> <p>(ハ) 子どものエンパワメント (能力向上) 活動 (ニ) 教員のエンパワメント (能力向上) 活動 (ホ) コミュニティのエンパワメント (能力向上) 活動</p> <p>活動内容 以下、3つの研修に関しても、予定通り、順調に進められた。 参照：「ソフトコンポーネント詳細」</p> <p>(ハ) 子どものエンパワメント (能力向上) 活動：地域内9つの小学校の児童会役員毎回約45名を対象に、計6回 (延べ277名) の児童会の責任や先住民の文化に関する研修を実施した。また、児童会主催の啓蒙活動を9校で行い、1,648名の児童が参加した。</p> <p>(ニ) 教員のエンパワメント (能力向上) 活動：先住民の理解を促進し、教育計画に反映させていくための研修を、地域内9小学校の教師約50～65名に計4回実施し、延べ230名が参加した。</p> <p>(ホ) コミュニティのエンパワメント (能力向上) 活動：先住民が地域の保健環境を向上させるための保健研修を計8回実施し、各回約30～40名、延べ256名が参加した。そして2地区で約300名の診療活動を行った。また、先住民の伝統文化の再評価と生計向上を目的とした研修を計9回実施し、各回約20名、延べ184名の住民が参加した。</p>
(3) 達成された効果	<p>【効果1】 子どもたちが整った学校環境で教育を受けられる。</p> <p>(指標1) 80名以上の子どもたちが整った学校環境で教育を享受、9校で児童会が設立されている。</p> <p>(達成度とその理由) 100%達成 申請時、シャトル小学校の349名の児童は、竹製の教室で学んで</p>

いたため、雨風が入り込み、授業がしばしば中断していた。また、学校にトイレがなかったため、特に女子児童は、トイレの為に早退するケースが日常的に発生していた。本事業によってトイレ付のコンクリート製 2 教室、そして申請団体の資金により 1 教室が新築され、雨風による授業の中断はなくなり、トイレのために早退する児童もいなくなった。

本事業を契機に、現地では先住民の教育の重要性が見直され、同シャトル小学校では、地元企業により 2 教室が建てられ、また本事業の校舎引渡式典に招待された市長の判断により、追加で 2 教室が建てられることとなった。これにより、合計 7 つのコンクリート製教室で子どもたちが教育を受けられることになり、生徒数は、申請時の 349 名から 434 名に増加、教師数も 6 名から 12 名に増加した。

本事業により、直接的には 2 教室分の 81 名、上記波及効果を含め 434 名の児童の教育環境が整えられた。現地の教育熱の高まりにより、今後も就学児童数は増加していくことが想定される。

また、バランガイサンホセにある小学校全 9 校では、児童会役員の選挙がおこなわれ、児童会が設立された。

【効果 2】

子どもたちの学校活動への参加を促す教育環境が整えられる。

(指標 2) 9 つの学校の児童会の役割と責任が学校に文章化され、且つ子どもたちの自民族の理解が向上している。

(達成度とその理由) 100%達成

1 年間の研修を通じて児童会役員が作り上げた児童会の役割と責任が 2012 年 3 月に教育省に承認され、各学校で文章化されて掲示された。また、研修後の確認調査で、45 名の児童会役員の自民族の理解が向上している事が確認された。

先住民であるという劣等感から、自らの意見を述べる事がほとんどなかった子どもたちが、今では、授業中の発言も増え、自分の想いや夢を教師に語るようになってきている。また、以前は形式だけの児童会であったが、「環境向上キャンペーン」等、児童会自らが企画し、実行する活動が生まれている。

【効果 3】

子どもたちの文化背景に配慮した教育環境が整えられる。

(指標 3) 確認調査において、40 名以上の教師の先住民への理解が向上している。

(達成度とその理由) 100%達成

研修後の確認調査で 54 名の教師の先住民への理解が向上している事が確認され、「先住民に適した授業計画の作成と実施」、「子どもの生活や文化背景を理解し、適切な指導をするための家庭訪問」、「健康状態改善の為に給食プログラムの実施」等の「先住民に優しい学校づくり」行動計画が各校で作成され、既に実行に移されている。

教師自身の先住民への理解が促進された結果、教師の中には、先住民ブラアンの言葉を覚え、積極的に子どもたちとコミュニケーションを取ろうとする者やブラアンの文化を非ブラアンの子どもたちに説明する者が現れる等、行動の変化が見られた。

	<p>【効果 4】 住民 30 名のリプロダクティブヘルスについての知識が向上している。</p> <p>(指標 4) 確認調査において、地域に住む大人 30 名以上が安全な出産方法や基礎的な疾病の対処法等の知識が向上し、且つ女性に出産の時期、子どもの人数の選択権があることを認識している。</p> <p>(達成度とその理由) <u>100%達成</u></p> <p>全研修後の確認調査で、研修に参加した地域に住む大人 32 名が安全な出産方法や基礎的な疾病の対処法などの知識が向上し、且つ女性に出産の時期、子どもの人数の選択権があることを認識していると確認された。村では新生児のへその緒の化膿により、新生児が亡くなるケースが多かったが、研修を通じて母親たちは適切な消毒方法を学び、へその緒の化膿が原因で新生児が死亡するケースは減少した。またハーブ研修では、住民は、地域で採取可能な植物が、咳止めやビタミン剤になることを学び、それらを適切に摂取できるようになった。</p> <p>保健研修参加者の母親たちの約 65%は、先住民の女性であるが故に、生涯を通じて「学ぶ機会」を持つことができなかった状況にあった。保健研修を通じて、学ぶ喜びを知り、実施団体に識字教室の開設を求める等、保健分野以外への波及効果が見られた。</p> <p>【効果 5】 住民が新しい生計技術を得ている。</p> <p>(指標 5) 確認調査で、地域に住む大人 20 名以上が新しい生計手段を獲得している。</p> <p>(達成度とその理由) <u>100%達成</u></p> <p>研修に参加した 24 名は、1 つのグループを作り、役員、生産、会計、監査、マーケティング、デザイン等の担当を決め、地域のお祭りや来訪者への商品販売を既に開始している。ビーズ細工等で作る伝統工芸が蘇り、村人全体の自尊心の向上に貢献している。</p>
(4) 持続発展性	<p>【ハード面】 教室や備品の維持管理は、教育省とシャトル小学校が行う。これについては「引き渡し協定書 (Deed of Donation)」の通り、教育省が予算措置を行う。使用状況について、当法人が、事業終了後最低 5 年間のモニタリングを行う。</p> <p>【ソフト面】 本事業の児童会と教師への教育面の研修は、既存の児童と教師の能力を高めつつ、運営ハンドブックを作成することで、制度としての定着を狙いとしている。そのため、児童や教師の入れ替えや追加に関わらず、制度として効果が持続していくことが期待される。保健や生計向上の研修は、定住している住民に対するものであり、本年度の個々の知識の向上、次年度以降の組織化を経て、その効果が持続していくことが期待される。当法人が事業終了後最低 5 年間はモニタリングを行う。</p>